

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局地域支援部高齢者支援課
評価対象期間	23年4月1日～24年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名称	北九州市立年長者研修大学校 (周望学舎・穴生学舎) 北九州穴生ドーム	施設類型 (年長者研修大学校) Ⅲ (穴生ドーム) Ⅲ	目的・機能 ⑦ — ②
	所在地	周望学舎：小倉北区新高田二丁目 29 番 1 号 穴生学舎：八幡西区鉄竜一丁目 5 番 1 号 穴生ドーム：八幡西区鉄竜一丁目 5 番 2 号		
	設置目的	(年長者研修大学校) 年長者に対して学習、地域活動の場を提供することにより、年長者の生きがいがづくりや健康づくり及び社会活動の促進に資する。 (穴生ドーム) スポーツ活動等を通じ、年長者の健康の維持増進及び世代間における交流の促進に資する。		
利用料金制		非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名称	社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会		
	所在地	北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号		
指定管理業務の内容		(1) 年長者研修大学校・穴生ドームの運営に関する業務 (2) 生涯現役夢追塾の運営に関する業務 (3) 庶務事務 (①各種調査、照会回答 ②備品の管理 ③使用料・受講料の徴収・返還 ④経理事務) (4) 施設の維持管理に関する業務 (①建物・設備・付属備品等		

	の保守管理 ②建物及び敷地内の清掃 ③警備業務 ④駐車場の維持管理)
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み
	<p>(1) 施設の設置目的の達成</p> <p>① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。</p> <p>② 市の政策を支援することが業務内容に付加されている場合、政策支援が十分に図られたか。</p> <p>③ 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>④ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。</p> <p>⑤ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p> <p>[所見]</p> <p>(年長者研修大学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年長者研修大学校の延べ利用者数は73,211人で、平成22年度の77,289人に比べ約5%減少したが、入学者数は増加した。</li> <li>年間コースのほか、新たな研修生獲得に向けて、研修内容の見直しと、体験入学講座や短期講座など気楽に参加できる講座を実施した。</li> </ul> <p>(生涯現役夢追塾)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯現役夢追塾の受講者数は述べ1,512人で、平成22年度の1,383人に比べて増加した。</li> </ul> <p>(北九州穴生ドーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>穴生ドームの延べ利用者数は119,465人で、平成22年度の115,438人に比べ約4%増加した。</li> <li>グラウンド・ゴルフ大会の実施やニュースポーツの出前体験や教室の開催、健康ウォーキング事業のほか、テニス教室も開催し、高齢者の健康づくりに継続して取り組んでいる。</li> </ul> <p>(2) 利用者の満足度</p> <p>① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p> <p>② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取り組みがなされたか。</p> <p>③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p>

- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

**[所見]**

利用者のアンケートの結果、いずれの施設においても講座の内容や施設、職員の対応・マナー等全ての項目で90%以上の満足度を得ており、利用者の評価は高い。

**2 効率性の向上等に関する取組み**

**(1) 経費の低減等**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

**[所見]**

- ・ 支出総額は178,166千円で、対前年比で約0.3%減を達成した平成22年度に比べ約8%低減することができた。

**(2) 収入の増加**

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

**[所見]**

- ・ 年間コースのほかにも、短期講座や市内の大学を活用した校外授業の開催で収入の確保に努め、指定管理料を除いた収入は40,709千円となり、計画値(39,943千円)を上回った。

**3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み**

**(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

**[所見]**

- ・ 卒業生を中心とした同好会や、ボランティアグループ等への活動の場を提供した。
- ・ 大学祭や年長者と孫の集い等のイベントで地元住民との相互交流を図った。
- ・ 研修生が通学路上での交通安全指導と子どもの見守り活動を年間を通して実施した。

**(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など**

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。

- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- ・ 個人情報については、保護システムの整備を行い、利用者へのサービス向上と事業者としてのスキルアップに努めた。
- ・ 火災発生時の非難誘導訓練を自衛消防隊と研修生合同で実施した。

【総合評価】

[所見]

（年長者研修大学）

- ・ 生涯活動を通じた生きがいつくりの場、地域活動を担う人材育成の場としての取り組みが積極的に行われた。
- ・ 利用者アンケートの結果によると、全ての項目で高い満足度が得られている。

（生涯現役夢追塾）

- ・ NPO、コーチング等の講座を通じて産業活動、地域貢献活動を担う人材育成に取り組んだ。

（北九州穴生ドーム）

- ・ 年長者の健康増進施設として、高齢者をはじめとした市民の健康・体力づくりを推進するための様々な事業が実施された。前年度に比べ利用者数が増加しており、利用者アンケートの結果も全ての項目で高い満足度を得られている。

総合的な評価として、設置目的に沿った適切で円滑な運営が行われたと認められる。

[今後の対応]

（年長者研修大学）

- ・ 年間各コースの応募数に定員越えや定員割れとばらつきがあり、さらなるプログラムの見直しや積極的な広報活動により新規受講生の獲得に努める。

（北九州穴生ドーム）

- ・ ニュースポーツの普及促進や各種大会の開催など、利用者の増加に向けた取り組みを継続する。